

2011 年 7 月 13 日  
住友化学株式会社

## 被災地支援に関する今後のCSR活動について

住友化学は、3 月 11 日に発生した東日本大震災以降、義援金 3 億円の寄付、社員食堂における東北・北関東地方の食材の使用や義援金付きメニューの販売、被災地応援マルシェ（物産展）の開催等さまざまな取り組みを行ってまいりました。

これらに加え、今後は、7 月 15 日付で CSR 推進室に設置する「社会貢献・災害復興支援グループ」を中心に、被災地の早期復興に寄与するため、以下の取り組みを行ってまいります

### 1. 社員ボランティアの被災地への派遣

社員ボランティアを各事業所等から募り、7 月 25 日より被災地へ派遣します。ボランティアの作業内容は、当社製品である機能性防虫ネット「タフガード®ネット」の避難所への設置支援、各自治体ボランティアセンター等と連携した各種作業（瓦礫撤去、泥掻き、写真洗浄等）を予定しています。当面の活動期間は、9 月末までを予定しており、その後は被災地の状況やニーズに合わせ、作業内容を再検討した上で進める考えです。

### 2. ハエ等害虫の発生に対する被災地各自治体への殺虫剤の無償提供

現在、被災地では、津波によって市街地に流れ着いた腐敗魚類等にハエ等の大量の害虫が発生し、大きな問題となっています。こうしたことから、当社は、約 1 億 5 千万円相当の当社殺虫剤「スミチオン®乳剤」「スミラブ®粒剤」等を被災自治体に無償で提供いたします。

### 3. 機能性防虫ネット「タフガード®ネット」の被災地への無償提供及び設置ボランティア派遣

当社は以前より殺虫成分を繊維に練り込んだ蚊帳「オリセット®ネット」をアフリカで事業展開することにより、アフリカにおけるマラリア防除に尽力してまいりました。国内では「オリセット®ネット」と同様の技術と素材により作成された機能性防虫ネット「タフガード®ネット」を、当社関係会社を通じて精密工場や食品工場での虫混入防止用に生産・販売を行っています。当社は被災地避難所等での防虫対策への強い要望にお応えするため、「タフガード®ネット」を無償提供するとともに社内ボランティアにより適正で効果的な設置を行なう予定としております。

以上